

多収型1段密植栽培システム



トマトリナ[®]



1段花房で摘芯し、
確実に着果と肥大を行う、
誰もが取り組める

本圃着果状況



果肉が厚い
トマト

シンプルな多収栽培システムです。

特徴1 年4作、30t/10aの安定した多収栽培

- 株間10cm、8000株~10000株/10aの密植栽培です。
- L玉中心で1株に4~5果を着果し、30t/10aの多収を実現します。

特徴2 育苗から収穫までの計画生産

- 密植栽培に必要な大量の苗を、「苗テラス」で定植予定日に計画安定供給します。
- 苗質の影響がきわめて大きい1段摘芯栽培で、着花の安定した良質の苗を「苗テラス」で供給します。



「苗テラス」育苗

特徴3 秀品率と歩留まりの向上

- 果実は玉揃いが良く果肉が厚いため、高い秀品率が望めます。
- 空洞果や変形果も少なく歩留まり向上も望めます。

特徴4 容易な減農薬栽培と低い病虫害リスク

- 「苗テラス」による無農薬育苗と短い本圃栽培期間により、減農薬栽培が容易です。
- 無病虫害の苗を用い、短期で収穫するため、病虫害リスクが低い栽培方法です。



苗テラスによる128セル苗

特徴5 簡易な技術のトマト養液栽培

- 育苗、本圃栽培とも高度な技術が不要で、誰もが簡単に取り組みます。
- 管理のマニュアル化が容易で、作業も標準化しやすいため、雇用労力の活用が望めます。



確実な着花と着果

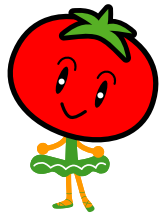
特徴6 低軒高ハウスでもOK!

- 1段摘芯のコンパクトな栽培なので、低軒高ハウスでも栽培できます。



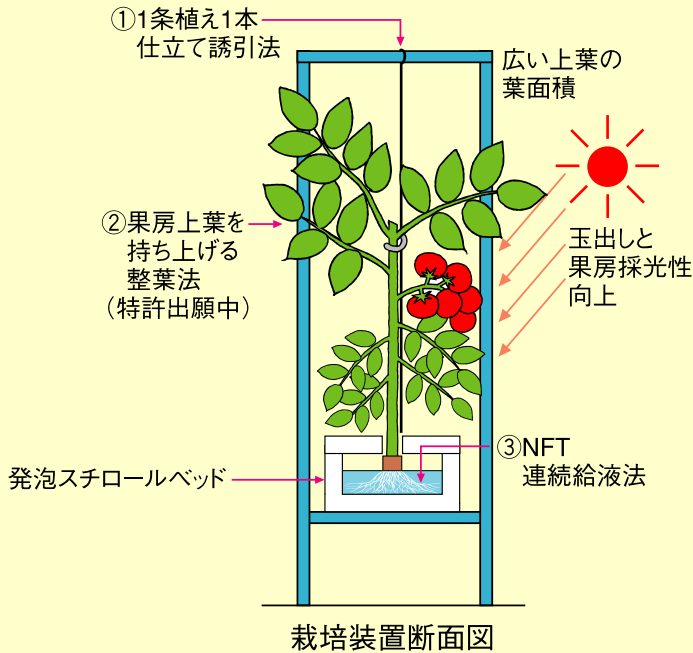
MKVドリーム株式会社

多収型1段密植栽培システム

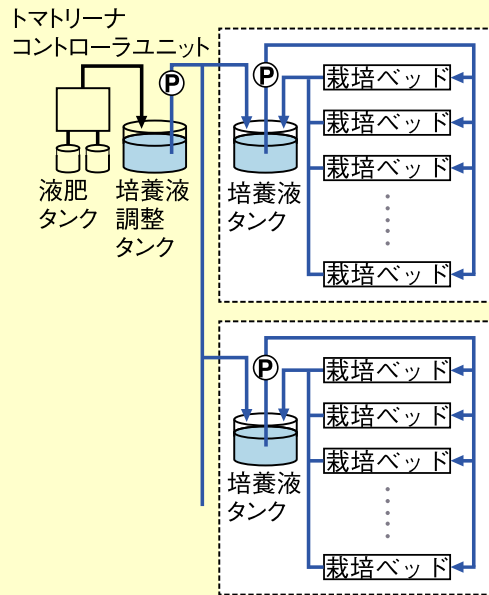


トマトリーナ[®]が、1段摘芯でも、多収量の理由

わけ



栽培装置断面図



給排水系統図

【栽培技術の4大ポイント】

1 1条植え1本仕立て誘引法

- 一般的な2条植えや1条植え2条振り分け誘引法に比べ、群落の採光性を確保できます。
- 日陰の淡く薄い葉が無く、大きく厚く濃い葉となり、十分な光合成が期待できます。

2 果房上葉を持ち上げる整葉法 (特許出願中)

- 上葉を斜め上方に持ち上げひもにのせ、密植で隠れやすい果実や下葉へ光を確保します。
- 果実の着色が促進され、空洞果の発生も抑えられます。
- 群落内部や果実の視認性が高まり、芽かきや収穫作業を容易にします。

3 NFT連続給液法

- NFTにより培地を用いず大量の株に培養液を安定供給します。
- 定植後から肥料分を多く与え、太い莖と大きな葉を育成します。
- 一定濃度の培養液を親タンクから循環タンクに減った分だけ補給するシンプルな培養液管理法です。

4 「苗テラス」による大量育苗法

- 128穴セルトレイで本葉4.5枚程度の大苗を育成し、初期生育をスピーディーに行います。
- 第1花房の花数や着生葉位を苗テラス内の環境調節でコントロールし、本圃での着果を安定させます。



MKVドリーム株式会社

本社
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-2-2 三菱樹脂ビル

農業ハイテク事業部

〒300-2498 茨城県つくばみらい市筒戸1114番地

TEL 0297-52-3112(代) FAX 0297-52-3095

www.mkvdream.co.jp www.napperland.net